

2024年度多文化共生パートナー育成講座

「JICAで学ぶ多文化共生

ビロンギングって何だろう？」

～実施・参加者アンケート結果報告～



参加費無料
交通費・昼食代は自己負担

「What does 'belonging' mean?」「**ビロンギング**って何だろう？」

2024年度JICAで学ぶ
**多文化共生
パートナー
育成講座
参加者募集！**

みんなが居場所を感じ
活躍できる社会
(ビロンギング)
を一緒に考えませんか？
海外ルーツの仲間も、日本の友達もお互いの
ちがいや魅力を感じながら、すべての人が輝
ける社会について一緒に考えてみましょう！
この講座では、そのためのヒントを学びます。

第1回	第2回	第3回
11月2日(土)	11月16日(土)	12月7日(土)
11時～17時	10時～17時	10時～17時
@JICA中部	@保見団地（豊田市）	@JICA中部

対象 多文化共生に関心のあるユース
(高校生・大学生・若手社会人)

定員 40名

申し込み



2025年2月26日 JICA愛知デスク 木村有里

概要①

対象：ユース（学生、若手社会人）

目的：多文化共生における現状や課題を理解し、
参加者が自分にできるアクションを実践していくこと

主催：名古屋NGOセンター、東海市民社会ネットワーク、JICA中部

後援：愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、愛知県国際交流協会、
名古屋国際センター

協力：公益財団法人名古屋YWCA、特定非営利活動法人地域と協同の研究センター、
中部サステナ政策塾、特定非営利活動法人日本ボリビア人協会

広報：チラシ（6,600部）、ポスター（25部）

主催、後援、協力団体での呼びかけ、ウェブページ、メールマガへの掲載、
コアグループからの呼びかけ（大学、Instagram等）

なごや地球ひろば訪問プログラム参加高校、大学へ案内

実施方法：2024年11月～12月 全3回 対面実施

概要②

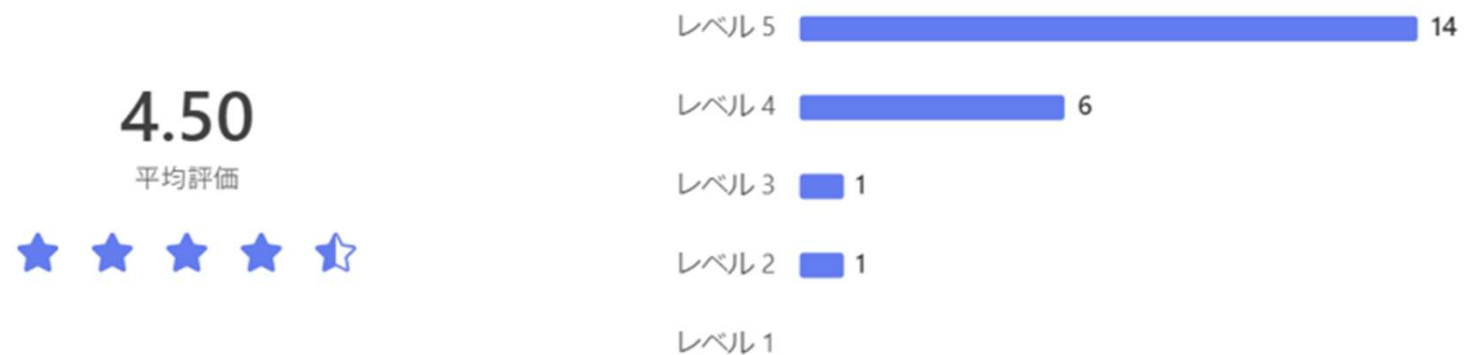
内容：

- ・ 第1回 11月2日（土）@JICA中部（参加者：30名）
ワークショップ＋基調講演
★基調講演「日本社会と日系南米人」松宮 朝氏
（愛知県立大学教育福祉学部 教授）
- ・ 現地訪問事前オリエンテーション 11月9日（土）オンライン
- ・ 第2回 11月16日（土）@保見団地（参加者：28名）
現場訪問＋交流
- ・ 第3回 12月7日（土）@JICA中部（参加者：20名）
振り返り＋ビロッキング＋アクション発表会

アンケート 結果①

参加者：20名 回答者：22名（コアメンバーも回答?）

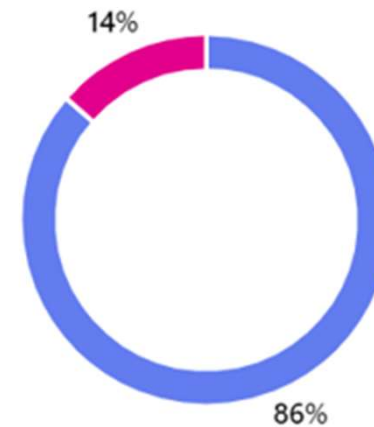
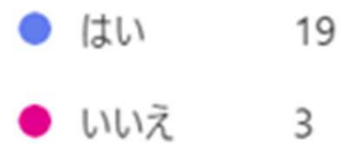
Q1：本講座の満足度（第1回～3回を通じて）



- ・ 様々な世代、所属の参加者とのディスカッション
- ・ 新しい考え、発見、事例を知れた
- ・ この講座での共通認識、アクションプランのレベル、ディスカッションの前提の共有があればよかった

アンケート 結果②

Q4：本講座を友人・知人に紹介したいか



【はい】

- ・ 新しい知識、視野が広がる
- ・ 勉強になった ・ 楽しかったから。

【いいえ】

- ・ 入門編なら
- ・ 社会人だと厳しい
- ・ 興味がある友達がいない

アンケート 結果③

Q6：今後実際に活動していくか



- ・ ボランティア（日本語、こども食堂、子どもを対象にしたもの）
- ・ 国際交流コミュニティの設立
- ・ 地域社会との交流
- ・ 他者理解、異文化理解のイベント開催

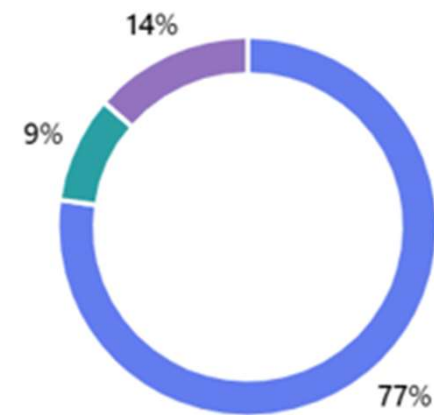
→実践につなげるため、

第4回、5回（「NEXT STEP」）を継続実施予定

アンケート 結果④

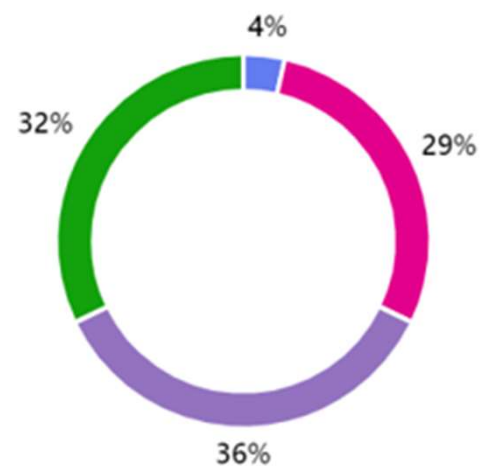
Q9：セミナーの実施方法

● 3回で丁度良い	17
● 2回くらいがよい	0
● できれば1日にまとめてほしい	2
● もっと多くてもよい	3
● その他	0



Q10：セミナーをどこで知ったか

● 名古屋NGOセンターのお知らせ	1
● JICAやJICA中部なごや地球ひろばのお知らせ	8
● チラシ	0
● 紹介を受けた（具体的にその他に記入）	10
● その他	9



まとめ

【まとめ】

- ・参加者の満足度は高い（実施方法（全3回）、プログラム内容等）
- ・参加者数増と改善が見られた
 - ↑コアメンバーの取り組みの効果
- ・実践への働きかけ、フォロー体制
- ・過年度受講者へに実践状況のアンケート実施、ボランティア活動など具体的なアクションの場を案内していくことも一案。

